

第1日 1月25日(金) 午後の部

(8) 数学部会 (中・高)		部会テーマ	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた数学科の授業の在り方		
内 容	今回の学習指導要領の改訂では、算数科・数学科において育成を目指す資質・能力を「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿って明確化し、各学校段階を通じて、実社会との関わりを意識した数学的活動の充実を図っている。そこで、新学習指導要領の趣旨を踏まえながら、生徒一人一人の確かな学びを育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた数学科授業の在り方について、実践発表や研究協議を通して考える。				
指導助言者	県教委事務局学校教育課	松本 秀則	司 会 者	総合教育センター	庄司 由夏
記 録 係	総合教育センター	前田 憲政	企画・会場係	総合教育センター	小川 賢一

実践発表 1

数学的な見方・考え方を働かせるための指導の工夫

～統一的・発展的に考察する力に着目して～

壬生町立壬生中学校 川田 征司

新しい学習指導要領を踏まえ、数学科の目標に掲げられている『数学的な見方・考え方』を分類し、その中の一つとされている「統一的・発展的に考察する力」について研究した成果を発表する。

実践発表 2

数学オリンピック講座を導入して

～3年間の経過から～

県立宇都宮女子高等学校 青木 伸子
 〃 刀 鉄也

本校では3年前から、数学オリンピック国際大会のメダリストを迎えて、講座を開催している。学校・学年を越えた協働学習の試みや、発展的内容を取り入れた活動など、数学オリンピックを通じた取組を報告する。

研究協議

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた数学科授業を考える